

文京区新たな公共プロジェクト 提言に基づく評価の視点

1. 区の基本姿勢

(1) 協働相手となる NPO や事業者の考え方を理解するために

- ・ NPO との意見交換の機会を充実できたか
- ・ NPO や事業者と共に課題解決する「共有価値の創出」ができたか
- ・ NPO の活動支援の仕組みや拠点の整備は進んだか

(2) 区が NPO 等から提案が持ち掛けられやすい組織・風土を培うために

- ・ NPO などの相談窓口を整備し、相談が増えたか
- ・ 区の取り組みがわかるよう協働に関する情報発信は十分にできたか
- ・ 組織横断的な協働推進体制を整備し、効果的に運用できたか
- ・ 職員の意識改革を促す研修を充実でき、成果を上げたか

2. 担い手の創出に向けて

(1) ステージ 1：新しい活動のきっかけや担い手の発掘となるアイデア創出の場を広げるために

- ・ テーマ提示型／非提示型、各種手法など多様な進め方に挑んだか
- ・ 区各部からの対話のテーマ提示は効果的に行えたか
- ・ 区民へのアイデア創出の場への参加の呼びかけは成功したか
- ・ アイデア創出の場に職員も参加し、ニーズ把握などを行えたか
- ・ 各主体とのつなぎ役を担える人材を発掘できたか

(2) ステージ 2：新たな公共の担い手の事業構築を支援するために

- ・ 担い手創出支援本部は効果的に機能したか
- ・ 事業構築支援への参加プロジェクトの募集・審査・選考は適切だったか
- ・ 区、アドバイザー、パートナー事業者による事業構築支援の方法は効果的であったか
- ・ 事業構築に区の職員は参画し、効果的な役割を果たせたか

(3) ステージ 3：区と担い手が課題解決の実践へ連携するために

- ・ 透明性・公平性を確保した協働相手の選定ができたか
- ・ 協働相手の信頼性の確認は適切なものか
- ・ 協働相手が活動しやすい環境整備に取り組めたか

(4) 事業構築スキームの適切な運営について

- ・ 事業構築実施において透明性・公平性を担保し、説明責任を果たしたか
- ・ 事業者の事業実施経費について把握し、多面的な支援ができたか
- ・ 事前に事業実施に関与する各主体との間で、責任とリスク分担を明確にした進め方ができたか
- ・ 事業構築が成功した事例、失敗した事例を分析し、知見を蓄積したか

3. 3年間の取り組みにおいて P D C A サイクルが機能したか

- ・ 事業構築の P D C A について
- ・ 創出された担い手と区との連携についての P D C A について
- ・ スキーム自体の P D C A について